|  |
| --- |
| 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 法人名 | 社会福祉法人 弘前愛成園 | 代表者 | 理事長  三浦　昭子 |  | 法人・  事業所  の特徴 | 法人の「愛・行動・感謝」という基本理念に基づき、事業所で「私たちは、利用者様ひとりひとりが、役割と生きがいを持って、自分らしく暮らすことを支援します」という理念を掲げ、ご利用者様が安心と信頼を得られる福祉サービスの実践に努めています |
| 事業所名 | 小規模多機能デイサービスセンター  りんごの郷 | 管理者 | 所 長  佐藤　史 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援ｾﾝﾀｰ | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
| １人 | 人 | ２人 | 人 | １人 | 人 | 人 | ６人 | 人 | １０人 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
| Ａ．事業所自己評価の  確認 |  |  | 自己評価を厳しく行うことで改善の可能性が期待できるのではないか。  できるだけ職員が話し合う機会を設け、意見が出し合える体制作りが大切だと思う。 | 利用者や家族に対して、年１回（１１月）アンケートを取り、その結果を業務に反映させていく。 |
| Ｂ．事業所の  しつらえ・環境 |  |  | 特に改善が必要なことはないが、もしかしたら地域の中には、何かしら感じている人もいるかもしれない。 | Ａの項目で実施するアンケートの中に、事業所のしつらえ等に関する内容も含めて意見や評価を確認する。 |
| Ｃ．事業所と地域の  かかわり |  |  | 地域の中の相談窓口として、気軽に立ち寄ってもらえる場所となるように働きかけが必要だと思う。以前も実施したと思うが再度、回覧板の利用や町会の総会等でＰＲしても良いのではないか。 | 町会の総会で事業所について説明を行うと共に回覧板を活用して、相談窓口として気軽に利用して欲しい旨をＰＲしていく。 |
| Ｄ．地域に出向いて  本人の暮らしを  支える取組み |  |  | 利用者以外のご近所の心配な方を把握することは個人情報の問題もあり、難しいのではないか。民生委員であっても情報把握には制限があり大変だというのが現状。 | 利用者等から地域の方で困っている人についての情報提供があった際には、積極的に関わるようにする（民生委員等と密に協力していく） |
| Ｅ．運営推進会議を  活かした取組み |  |  | 具体的な内容のイメージが沸かない項目が多い。運営推進委員として、仕事のため毎回は参加できないかもしれないが、これからも協力していきたいと考えている。 | 来年以降の運営推進委員のメンバー構成について、地域性を考慮し、同じ人が長期的に関わってもらえるような体制作りを検討していく。 |
| Ｆ．事業所の  防災・災害対策 |  |  | 災害時には事業所の協力はお願いしたいと思っている。  地域の方に防災協力員として消防訓練にも参加してもらっている。ＡＥＤも地域の方に必要に応じ利用してもらいたいと考えている。 | 回覧板等でＡＥＤが設置されており、必要時に地域の方も使用してもらえるように周知すると共にＡＥＤ講習に地域の方も参加できるようにする。  地域の防災訓練がある際には積極的に参加する。 |